

会 議 録

会 議 の 名 称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 患者情報共有・ICT 部会	
開 催 日 時	令和6年8月8日(木) 開会：19時30分・閉会：20時15分	
開 催 場 所	産業文化会館 第2会議室	
出席者(委員) 氏 名	藤井尚子、上村勇樹、松原克彦、小沼 豊蔵、石島弘美、平賀絵美、 淵上通子、江原史江、川島 治	
欠席者(委員) 氏 名	栗原 肇、江袋文紀、大山恵巳	
事 務 局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会 議 内 容	I. 前回のまとめ II 議題 1. わたしの人生ファイル改訂案について 2. 行田人原稿について 3. MCSについて	
会 議 資 料	(資料名・概要等) ・ICT/患者情報共有部会次第	
そ の 他 必 要 事 項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名	
6 年 10 月 / 日	 藤 井 尚 子 ----- 上 村 勇 樹	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
藤井委員 各委員	【開会】 19：30 I． 前回のまとめ 次第のとおり ふらっと（研修）部会が実施している研修において、多職種で支えることから MCS について啓蒙していく。 II． 議題 1． 人生ファイルの改訂について ハードカバーを小さくするか、内容をもう少し簡単にできないか、自分で書けるようにできるかなどの意見が出ていたので、資料にまとめた。 施設のふぁみいゆで、家族でエンディングについて話をしているかのアンケートを実施したが、70 名中、2～3 名という結果だった。看取りも家族の希望で決定することがほとんどである。 今後は、施設入所者にもアドバンス・ケアプランニングが必要ではないかとの意見もある。 人生ファイルは、在庫が少なくなったため、増刷することになった。本年度の人生ファイルの印刷予算は、増刷分で支出することになる。改訂については、来年度以降になる。 改訂について、詳細に確認する。 サイズは、A4 ままでよいのではないか。小型化の検討は必要かもしれない。 表題は、変える必要はないと思われる。 1 枚目の説明は【「わたしの人生ファイル」改訂案まとめ】も改善案「あなたが住み慣れた地域で医療や介護サービスを受けながら安心して暮らせるように、ご自身やご家族、専門職等で情報を共有するためのファイルです。」と修正する。 2 枚目は、心肺停止の際の蘇生処置の有無を掲載するのは難し

いのではないか。その意味も含めて、人生の最終段階の医療で表現している。また、記入してあっても、その際の蘇生処置の希望を本人が答えられない場合、家族が答えるのでよいのではないか。救命処置の希望の有無を書くに当たって、家族のみで検討して書くのではなく、説明をきちんと受けた上で書くことが必要。いつ誰が書いたかわからない状況で、救命処置をやらないということとはできない。救命場面と看取り場面では、状況が違う。人生ファイルで表すのは、「考えておいてほしい」ということである。「考えてほしい」というメッセージは入れておいた方がよい。後半の部分で、作り上げるほうがよいか。

3枚目の保険・医療（医・歯・薬）情報は、記入を簡単にする方針に沿って、再検討する。

4枚目の介護の情報は、サービス提供票など、穴をあけてファイリングする方法もある。また、表紙裏のポケットのところにも挟めるようになっている。

状況は変わっていくものであるため、まずは書くスタートの時点で基本として記入し、変化していくものをファイリングするように工夫を凝らすほうがよいのではないか。新しい情報は、上書きするような方向にしたほうがよい。

介護の情報の必要量を検討したい。

5枚目の情報シート③の生活状況、自分自身については、残す。

6枚目の情報シート④の健康情報のシートは残すが、書いても書かなくてもよいこととする。

8枚目のわたしの状況について①は、7枚目と重なるので削除し、本人が書ける7枚目に集約する。

9枚目のわたしの状況について②の歯科の口腔内については、本人がかかるように改正し、残す。お薬手帳で賄える部分は、削除する。薬剤のアレルギーに関しては、残す。ジェネリックの情

報は削除してもよいのではないか。

「これからの私」については、神戸大学のものを付録としてつけるのはどうだろうか。

自分の意思がはっきりしてうちに考えてもらいたい。

来年度に向けての改定として、検討を続けたい。

【閉会】 20 : 15